

諸家系譜

立
か 河 野

庫文官政太			
三五	三三四九	和	書門
冊	架	函	號類

共二百廿五内

庫文閣内			
三五	三三四九	和	書
冊	架	函	號類

共十五

内閣文庫			
番號	和	32649	
冊數	225 (117)		
函號	156	23	



カ、
紙留

系譜

五月廿八日
与合行黄台

海軍
百三十三号
坂田豊彦

与合
河野彦平

越智氏

河野

先祖在靈天皇白皇太子存高宗子教之屋胤

指物之紋

角内之文字

生之紋

今之屋之紋

赤布之紋

角内之文字

角内之文字

古靈天(皇)五代(皇)統
越智氏

河野氏

通泰

集

越智氏

若石字下海合

長行女

天(皇)十(代)皇(年)中(皇)受(命)

神(皇)之(皇)受(命)

神(皇)之(皇)受(命)

神(皇)之(皇)受(命)

神(皇)之(皇)受(命)

神(皇)之(皇)受(命)

神(皇)之(皇)受(命)

神(皇)之(皇)受(命)

母 青

通陽

元正節

母 中書省中書

廣安四年正月五日

也所除

左議中書省中書省中書省

中書省中書省中書省

通護

元正節

中書省中書省中書省

元正節中書省中書省

中書省中書省中書省

中書省中書省中書省

中書省中書省中書省

元正節中書省中書省中書省

元正節中書省中書省中書省

元正節中書省中書省中書省

元正節中書省中書省中書省

元正節中書省中書省中書省

元正節中書省中書省中書省

元正節中書省中書省中書省

元正節中書省中書省中書省

元正節中書省中書省中書省

元正節中書省中書省中書省

元正節中書省中書省中書省

元正節中書省中書省中書省

元正節中書省中書省中書省

元正節中書省中書省中書省

通長

後長

母 牧野氏女

素 妻 江平朝臣信房女

元禄十一年生

元禄十一年生 入信房信房信房

元禄十一年生 入信房信房信房

元禄十一年生 入信房信房信房

元禄十一年生 入信房信房信房

通孝

母 上青

元禄十一年生 入信房信房信房

女

元禄十一年生 入信房信房信房

母 上青

某

元禄十一年生 入信房信房信房

通都

母 信房氏女

元禄十一年生 入信房信房信房

元禄十一年生 入信房信房信房

通春

母 信房氏女

元禄十一年生 入信房信房信房

石之通也

三之通也

元月八日河内喜接所為所出此通也
地於每多為多而多之通也河内地所出
此通也

負政上之通也

河内

人皇七代
孝靈天皇

講大日本根子孝太

皇孫命

号伊子親之

皇孫命

此將南宮西戒初陸紀則初皇子賜号
西南藩府將軍降下於此國字若經那
神清居居過等也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也

大宅姓

三宅姓

伊直之通大園神也

伊直之通也

小千衛子

作本紀乳小治也

幼有智神室七歲言蒙幼迎奉都自親成
此以名中國小千都大漢遠館乃名

天候貫

天候外

雷鹿

三並

神印自皇后乃親建道乃親中人以海之五五年
三並自之乃乃之位乃乃王子乃國之例乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

能武

仔細馬

能武守 馬繩 馬集

胎海

久馬丸

百星

百男

益魁

益魁乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃
東神乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

武男

武男

諸能

了躬

守貞

守貞守

夫守夫智夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫
其夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫夫

去真

去真 教位 信書更

去真 守貞 守貞

益男

志勝

洋躬一息村

息利

名方

好方

秋智印使

大井行

尔崔流河... 天慶二年... 宣統... 好方... 亦此... 亦此... 亦此...

好奉

印國印使

安國

風子

安躬

名方

光具

後永印使

名家

名方

名家

名家

好也

後永印使

在... 名字... 名字...

家... 子... 下... 修... 國... 此... 時... 五... 官... 下

以下引... 多... 日... 日...

か) あり
醫所
合流

未
三月廿七日

先祖書

該
武檢四書〇
御書之序

白鳥三吉
河津勘兵衛

系後内之自送可也書

先達之自送可也書

海軍中將... 實之政上... 右書載... 以達... 每...

百三

河津...

孝靈天皇二十三年

王澄

号...

此社河津名号... 林...

益男

國教...

真勝

西...

洋躬

寺...

息村

寺...

息利

樹...

息方

人...

好方

執智押使

東麓院御宇

天長二年及系純友叛亂討伐之時

蘇那命討之好方貴女曰新屋之

純友新領之恩壹賜名地源氏云

好峯

野田押使

安國

風中押使

好形

長多部使

元貞

温泉部使

元家

久孫部使

家時

和友之使

為世

浮宮館

家時依之孫揚子孫子孫國以下家時為
婿美良子今家之續仍代之雖為官
之乃為位之官 宣下

為時

浮宮館之使

時孝

福宮館之使

為繼

風子神位後
經子後仲

親存

少傳新之文

宗繼

寺河到彦氏

親位

河原新之文

伊藤經仲

伊予守源相義為國主親位海守子
相義末子也為婚人繼其家

為存

三井大文

成之存

益原及源口

庶存

少傳新之文

庶存

親存

三井大文

河原新之文

伊藤經仲

伊予入道源相義末子為親位婚令

源令之家

白河院中守位伊予國新田

妙子

伊予守源相義末

盛親

少傳大文

通清

河津新吉

行多信外

啓家

親近依字之妻清之孫河津神初也
唐田子

通孝

通貞

通信

嘉永二年信長船三子艘馳嘉徳浦登

通經

河津新吉

通付家依口切自新船馳通後七郎
字護藏文治三年舟行入河津浦
志願心先臨切賜身列之通貞也
少月卒之孫八歳

一字
号甲申月冠志名利在義位馬留嘉徳

通孝

通師

古節

通貞

通者

三節

常賢坊

書名

通後

通後字之文

通改

河中之節

河中之

通末

河中之節

通久

河中之節

河中之

由

由多可改小

兼之長紀時乃國事行且其將之因

妙子

以河後知切考賜河國富而元法津勢
略制之每節不并以文通信野野流
刑乃河以終人今世河也通家

通廣

河中之節 河中之

通宗

十節 後 由家

通經

河中之節 又為人任三經也

由

由及在也乃野補經也

通時

河中之節 河中之

每 月

女 女

通 引

河 中 也

通 整

河 中 也 任 竹 理 也

通 有

河 中 也 新 馬 也

每 井 門 也 長 茂 也

通 字 多 院

河 中 也 古 船 裝 束 也 河 中 也 港 也

通 介

北 希 服 後 又 西 河 城 也 自 國 書 也

通 泰

通 成

通 易

通 通

通 忠

河 中 也 介 第 九 新 馬 也

通 云

河 中 也 第 九

通雅
通貴

河中守
河中守

未詳

先親書

詔智之姓

河東

家之欽

乃教之曰西之三子

智欽

唐之紀

幕中之欽

乃教之曰西之三子

孝靈天皇字云代河內國作人河津守也乃隆

父修子之麻那河津守也乃隆乃隆

檢現保奉仕

天正十六年詔之別死 女

一 元祖

壽林

女 石部

山名源流源奉仕也後

人獻院公所奉仕也

堯卿也乃隆也

崇有公所代也乃隆也乃隆也乃隆也

與山縣源河津守也乃隆也乃隆也

乃隆也乃隆也乃隆也乃隆也

以曆乙未年正月十日而祀七年九
月余走長年路中四院庵茶
以名壽神院於雲下四

一初代

伊勢守
生田守

長安守
伊勢守

十三年
伊勢守

室母守合殿回令信守長女

敬有公卿代

以曆乙未年正月十日而祀七年九

月余走長年路中四院庵茶

以名壽神院於雲下四

實見文上
以者入
信法
以者入
信法
以者入
信法

敬有公卿代

以曆乙未年正月十日而祀七年九

月余走長年路中四院庵茶

以名壽神院於雲下四

以者入

信法

以者入

信法

山形縣赤松村
柳田忠政印信

山形縣赤松村
柳田忠政印信

一 夜月

金藏大権可佐世

長治十一年七月二十日

御月見之日
向永六已丑年八月十日

常憲之御代

長治十一年七月二十日

御月見之日
向永六已丑年八月十日

長治十一年七月二十日

御月見之日
向永六已丑年八月十日

長治十一年七月二十日

御月見之日
向永六已丑年八月十日

御目見入之及洋船門中月之由之
同中右御所江 御意下 御意下

上之及同右也 御目見

同中右御所中 御意下 御意下

御意下 御意下

同中右御所中 御意下 御意下

御意下 御意下

同中右御所中 御意下 御意下

御意下 御意下

同中右御所中 御意下 御意下

同中右御所中 御意下 御意下

御意下 御意下

同中右御所中 御意下 御意下

御意下 御意下

同中右御所中 御意下 御意下

御意下 御意下

同中右御所中 御意下 御意下

御意下 御意下

同中右御所中 御意下 御意下

御意下

元文元年甲辰年十二月及山中書院修成
記

同年八月十日及山中書院修成
記

右山院中書院修成
記

左山院中書院修成
記

同年九月十日及山中書院修成
記

同年九月十日及山中書院修成
記

同年九月十日及山中書院修成
記

同年九月十日及山中書院修成
記

同年九月十日及山中書院修成
記

信之御代

同二年九月十日及山中書院修成
記

同二年九月十日及山中書院修成
記

同二年九月十日及山中書院修成
記

同二年九月十日及山中書院修成
記

同二年九月十日及山中書院修成
記

同二年九月十日及山中書院修成
記

同二年九月十日及山中書院修成
記

唐同新... 國... 八... 果... 沙... 用
五... 年... 時... 之... 歸... 順...

國... 乙... 年... 上... 月... 朔... 日... 爲... 曆... 日... 終... 日...

國... 乙... 年... 辛... 未... 年... 上... 月... 朔... 日... 爲... 曆... 日... 終... 日...

國... 乙... 年... 辛... 未... 年... 上... 月... 朔... 日... 爲... 曆... 日... 終... 日...

國... 乙... 年... 辛... 未... 年... 上... 月... 朔... 日... 爲... 曆... 日... 終... 日...

河... 順... 之... 歸... 順...

國... 乙... 年... 辛... 未... 年... 上... 月... 朔... 日... 爲... 曆... 日... 終... 日...

國... 乙... 年... 辛... 未... 年... 上... 月... 朔... 日... 爲... 曆... 日... 終... 日...

國... 乙... 年... 辛... 未... 年... 上... 月... 朔... 日... 爲... 曆... 日... 終... 日...

國... 乙... 年... 辛... 未... 年... 上... 月... 朔... 日... 爲... 曆... 日... 終... 日...

人... 綱... 之... 歸... 順...

國... 乙... 年... 辛... 未... 年... 上... 月... 朔... 日... 爲... 曆... 日... 終... 日...

國... 乙... 年... 辛... 未... 年... 上... 月... 朔... 日... 爲... 曆... 日... 終... 日...

國... 乙... 年... 辛... 未... 年... 上... 月... 朔... 日... 爲... 曆... 日... 終... 日...

國... 乙... 年... 辛... 未... 年... 上... 月... 朔... 日... 爲... 曆... 日... 終... 日...

三行所予之通原月一之書以自及
大綱之他所被之能免元通

同平二月十八日病死歲之八海余建
長年信申正流居安并

法右 和安院之釋之節

通高素

全父也其後与以在之通也
子向也其後与以在之通也

乃女之知字定慶之養女

同原

河野十次郎通教

宣德保之全 宣平九月十七日幼死

病死歲之八海余建七之塔中其位庵
并 法右 英收院後岳判昌

通高次男

仁室保山之節 誠陳

宣平保十九日病死年三月九日宣平院地福
乃女之知字定慶之養女

同人三男

如田求与西浦

宣平保十八日病死年三月六日宣平院地
乃女之知字定慶之養女

同管

減田宗子郎親信

享保十九甲寅年六月七日
細減田宗子郎親信

同管

享保十九甲寅年八月
赤心長尾信法

同管

享保十九甲寅年八月
赤心長尾信法

同七男

松平信元忠由

同八男

享保十九甲寅年六月
赤心長尾信法

同女子

赤心長尾信法

同女子

赤心長尾信法

同女子

赤心長尾信法

同女子

由名子

三上子九郎重長業

同女子

由名子

河津他身院通初業

同女子

由名子

大崎藏助重長業

同女子

由名子

依中身重長業

通教書

升戶新島弘業女
河津院之

元文六年正月十九日病死源業

建名子塔中白紙局葬

法名梅信重長業

通教書

一三代目重長業

由名子

升戶新島弘業女

有徳云

享保三年十月五日初葬祖父

其者乃... 通編... 延曆天皇... 九月... 初...

所目見之

同七月... 同七月... 同七月... 同七月... 同七月...

惟信院... 延和元年... 二月十八日

初夜... 延和元年

同七月... 延和元年

其者乃... 延和元年

延和元年... 二月十八日

延和元年... 二月十八日

延和元年... 二月十八日

延和元年

延和元年... 二月十八日

延和元年... 二月十八日

延和元年... 二月十八日

延和元年... 二月十八日

延和元年... 二月十八日

同治甲辰年四月十五日
同治丙午年二月十五日
同治丁未年三月十五日
同治戊申年四月十五日
同治己酉年五月十五日
同治庚戌年六月十五日
同治辛亥年七月十五日
同治壬子年八月十五日
同治癸丑年九月十五日
同治甲寅年十月十五日
同治乙卯年十一月十五日
同治丙辰年十二月十五日

名案

同治元年十月十八日

同治元年十月十八日

同治元年十月十八日

同治元年十月十八日

同治元年十月十八日

同治元年十月十八日

同治元年十月十八日

長子修中 正統庵茶法名切定

養子惣順

全父官承之儀 承房之官

河津惣之御通并

實政之儀 成平二十九年 養子

惣之通 正統庵茶法名切定

正統庵茶法名切定

正統庵茶法名切定

正統庵茶法名切定

實政之儀 成平二十九年 養子

養子 正統庵茶法名切定

養子惣順

全父官承之儀 承房之官

河津雄之御通并

正統庵茶法名切定

正統庵茶法名切定

正統庵茶法名切定

正統庵茶法名切定

女子

女子

甲世

女子

乙世

女子

如子
如子

如子

如子

寛政七年十月十日

右

如子

寛政七年十月十日

如子

如子

系譜

か
紙

河野吉五郎

教習所

河野

先祖河野公隆通氏河野至在在是利隆
時代上夜最定石塚海有通氏通氏河野
通氏河野河野河野河野河野河野河野
河野河野河野河野河野河野河野河野

幕之紋

例河野之文字

家之紋

例河野之文字

替之紋

九

河野河野河野河野河野河野河野河野
河野河野河野河野河野河野河野河野
河野河野河野河野河野河野河野河野
河野河野河野河野河野河野河野河野

中吉

河野

大永二年平生教習所

河野信長河野河

河野河野河野河野河野河野河野河野

河野河野河野河野河野河野河野河野

河野河野河野河野河野河野河野河野

河野

河野

河野

天正十年二月二日於河野河野河野河野

河野

河野

河野

河野河野河野河野河野河野河野河野

河野河野河野河野河野河野河野河野

甲朔

陰三陽

海國相傳

母 上

宣統四年八月一日

書附 河野

甲寅

母 陽

相母 江

宣統四年八月一日
天無之... 入...
宣統四年七月...
宣統四年八月...
宣統四年八月...

甲保

八

寶 增廣 陽

宣 宣 宣 宣

宣 宣 宣 宣

宣 宣 宣 宣

宣 宣 宣 宣

宣 宣 宣 宣

宣 宣 宣 宣

宣 宣 宣 宣

宣 宣 宣 宣

獻道

宣 宣

母 加茂中女

素 加茂中女 林との白雲女りそ

元禄二年九月廿七日大坂の陣に於て

三右衛門守左衛門尉藤原良房

守左衛門尉藤原良房の御孫

守左衛門尉藤原良房の御孫

母 上方

元禄二年九月廿七日大坂の陣に於て

通年

素 加茂中女

母 上方

女

元禄二年九月廿七日大坂の陣に於て

通年

素 加茂中女

女

元禄二年九月廿七日大坂の陣に於て

女

元禄二年九月廿七日大坂の陣に於て

女

元禄二年九月廿七日大坂の陣に於て

女

河内守 三任保長 其の女 河内守 三任保長 其の女 河内守 三任保長 其の女

女

河内守 三任保長 其の女 河内守 三任保長 其の女 河内守 三任保長 其の女

女

河内守 三任保長 其の女 河内守 三任保長 其の女 河内守 三任保長 其の女

利置

河内守 三任保長 其の女 河内守 三任保長 其の女 河内守 三任保長 其の女

女

女

河内守 三任保長 其の女 河内守 三任保長 其の女 河内守 三任保長 其の女

申數

三ノ野并傳人馬舟共

申 上向

寶政二年二月十九日申之九日
舟内与 号 氣 不 陸 郡 知

左 遺

右 五 節

申 上 向

素 舟 子 船 一 河 即 津 船 舟 船 舟

舟 内 与 年 年 申 日 申 之 九 日

寶政二年二月十九日申之九日
舟内与 号 氣 不 陸 郡 知
舟 子 船 一 河 即 津 船 舟 船 舟
舟 内 与 年 年 申 日 申 之 九 日
舟 内 与 年 年 申 日 申 之 九 日
舟 内 与 年 年 申 日 申 之 九 日

女 舟 家 舟

某

申 河 野 舟 舟

寶政二年二月十九日申之九日
舟内与 号 氣 不 陸 郡 知

右 遺 津 津 津 津

三ノ野并傳人馬舟共
上野木國傳錄四ノ野并傳人馬舟共

寶政二年二月十九日申之九日
舟内与 号 氣 不 陸 郡 知
舟 子 船 一 河 即 津 船 舟 船 舟

力、
銀、
行

東京市
海軍省
海軍省
海軍省

系譜

海軍省
海軍省
海軍省
海軍省

小室正徳海軍省
海軍省

河津吉太郎

[Faint, mostly illegible handwritten text on the right page]

批答

河野

幕之致 角切角之 中編曆斗

元角切角之 中編曆斗

家之致 角切角之 中編曆斗

古家之致 角切角之 中編曆斗

文照院御先祖御改角切之 中編曆斗

代角切角之 中編曆斗

啓致 九ノ白醜取

孝重天皇之御河野御通候之御胤河野天皇御通三男

安通

御孫河野天皇御通三男

奉 大書
之校後行...

治書 出左...

少士...

...

文原...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

家 嗣

信法寺 初五午部

母

如蒙 賜教 幸甚 幸甚

妻

如蒙 賜教 幸甚 幸甚

近

近蒙 賜教 幸甚 幸甚

弟

弟蒙 賜教 幸甚 幸甚

弟

弟蒙 賜教 幸甚 幸甚

弟

弟蒙 賜教 幸甚 幸甚

同治元年九月十日

同治元年九月十日

信法寺 如蒙 賜教 幸甚 幸甚

如蒙 賜教 幸甚 幸甚

如蒙 賜教 幸甚 幸甚

如蒙 賜教 幸甚 幸甚

如蒙 賜教 幸甚 幸甚

如蒙 賜教 幸甚 幸甚

如蒙 賜教 幸甚 幸甚

如蒙 賜教 幸甚 幸甚

伊藤氏より重山山崎氏に渡りて四年
上りて正徳二年多岐路の
如く申す正徳二年海峽を渡りて入幅
並に渡りて紅毛の渡りて同様に申す
少く申す正徳二年の如く申す
天明二年正徳二年より高野山より
同様に申す正徳二年の如く申す
伊藤氏より重山山崎氏に渡りて四年
上りて正徳二年多岐路の
如く申す正徳二年海峽を渡りて入幅
並に渡りて紅毛の渡りて同様に申す
少く申す正徳二年の如く申す
天明二年正徳二年より高野山より
同様に申す正徳二年の如く申す

英通

初巻 長子節

正徳九年正月一日元日

女子

山崎氏

正徳九年正月一日元日

女子

山崎氏

正徳九年正月一日元日

正徳九年正月一日元日

英通

山崎氏 初巻

長女

正徳九年正月一日元日

長女

正徳九年正月一日元日

長女

正徳九年正月一日元日

正徳九年正月一日元日

安藤清和申年十月五日
 長崎府佐賀縣門司入
 船長田之助様
 貴船物立迄
 大島之船
 云々
 一
 若名御
 松ら
 日
 上
 日
 治政

貴政
 所
 相
 貴
 貴

河津

廣通

母
 書
 貴政
 長崎府佐賀縣門司入
 船長田之助様
 貴船物立迄
 大島之船
 云々

か
二
冊

系譜

事
有
九
九
歳
月
減
少
也

改
氏
皇
室
系
譜
の
考
究

皇
室
系
譜
の
考
究
河
野
英
之
助

紙
河柳

高
文
文
文
文
文
文

臨
通
通
通
通
通
通

神
永
實
神
實
神
實

武
上
威
所
合
知
實
河

芳
市
之
之
之
之
之
之

孝女 尾山由女

実天 河野好吉の長女也

孝女 長友の継女

天 神代三年生れ也

河野好吉の長女也

元文三年生れり

孝女 河野好吉の長女也

河野好吉

道樂

母 河野好吉

孝女 河野好吉の長女也

元文三年生れり

孝女 河野好吉の長女也

女子

孝女

道相

河野好吉

実天 河野好吉の長女也

孝女 河野好吉の長女也

孝女 河野好吉の長女也

孝女 河野好吉の長女也

孝女 河野好吉の長女也

孝女 河野好吉の長女也

孝女 河野好吉の長女也

孝女 河野好吉の長女也

天明七年七月十九日
...

通額

通同

天明七年七月十九日
...

通額

...

某

天明七年七月十九日
...

右に通達せしむ

三三番五石 上野國本國字元原の元長

寛政七年十月 河野長之助 封

封

右に通達せしむ
建久内通

系譜

治成
建久内通

か
敏

久以者

建久内通

河野長之助

紙智也 河野

先祖人皇尊七帝孝靈天皇中之御孫
之皇子皇太子中御子孫胤河野四郎
河野權女紙智通信守五代之流胤
幕之敘 陽明有之月之文字
家之敘 口以
智之敘 九之也 別有在
三代目之敘收為所難退臣之御孫
王國右之敘侯三春目也 任河野之主

下國之引引卷一叙一類之於異國舟
驗他之舟混亂故有新數向遠候之
其致海冰之移之見之文字自昔南好之
之月之文字敘而信里者信之有之

通信五世之孫
通序

下編字

通泰

以家藏刊
書

石紙

元七帝正史 後臨正史

天文十年七月廿日名紙甲列也

甲列屬信玄船相没後

天正十年七月廿日名紙

信源之正史 右至甲列見取合紙書案切端

合源又長久日之後再畫切加也

出而及與列合紙右權也

御所信正史國之弟之信源也

御所之信源也

御所之信源也

下編

元徳三年乙酉年正月朔日
拜西之紙 法名之紙

通照

此類別外 新立部

心照之

母 石紙
素 石紙

年月日名紙甲別出

天白八度宮年

權現公園東 即入國之別

正白部之紙甲別出

實之紙之乙宮年
正月朔日
蘇西之紙号 推定道之英

照盛

正白部

母 石紙

素 石紙

年月日名紙甲別出

權現公 即行中奉公位大臣 即陳長太著

元徳三年乙酉年正月朔日

即成三年乙酉年正月朔日

御陣中各様御事御座候事
此河久知之殿上は乃屆其御座候事
又此後番事御座候事此河久知之殿
松平之御事御座候事
此河久知之殿御座候事

年迄不欠之御事御座候事

通正

此河久知

此河久知
此河久知

年月日名取の御事

名取之
大敵之
若者之

御之代官御事御座候事
此河久知御座候事

大敵之

御之代官御事御座候事

此河久知御座候事
此河久知御座候事
此河久知御座候事

此河久知御座候事

通長

通長 在十部

母 石部

妻 石部

生 石部

實 石部 乙酉年七月廿八日

弟 石部

西 石部 乙酉年七月廿八日

石 石部 乙酉年七月廿八日

乙酉年六月廿八日十月廿八日父石部

同年三月廿八日

乙酉年九月廿八日

母 石部 乙酉年七月廿八日

石 石部 乙酉年七月廿八日

石 石部 乙酉年七月廿八日

石 石部 乙酉年七月廿八日

石 石部 乙酉年七月廿八日

石 石部 乙酉年七月廿八日

石 石部

通時

母 石部

素

節婦 國戶恒美女

生何處

貞享三年三月廿一日御父恒美乃一傑

上書の暇に長しと願

御目見之仁

元禄四年七月廿五日父恒美在職

少事に及久保之者也又

同六年七月廿五日父恒美在職

同七年七月廿五日父恒美在職

同八年七月廿五日父恒美在職

松平恒美と云ふ人

享保十七年四月廿五日建初院御

子紀一節婦也

同七年七月廿五日

同八年七月廿五日

松平恒美 号心海院元時也

元禄四年

恒美

加美

女

國戶恒美女

素

國戶恒美女

室永四丁亥年四月廿五日

高保十一丁亥年七月廿五日

源永子初之

丁亥年四月廿五日

少子位能建部臣部補子紀又

丁亥年四月廿五日

以人

在之由後之知し

高保之及亥年四月廿五日

高保子初之

亥年四月廿五日

周防子又紀入

丁亥年四月廿五日

紀入

丁亥年四月廿五日

高保子初之

丁亥年四月廿五日

高保子初之

高保子初之

高保子初之

壬午年二條上皇御

桃岡帝依 山崩御旨奉事家令御書

系約白泉源字於兩帝御之

同年三月御遷物御旨御書

奉 令奉事御之

御書下并時指及裁行御用御書上御

一 宝曆九年正月二十日御政事御書

上御書并力以應慶賀其久心御書

在子御書御旨并加御書御書

御書御旨并加御書御書御書

御書御旨

東 香取帝御書

東 香取帝御書

東 香取帝御書

右衛門中納言依

宝曆四年正月二十日御書

香取帝御書

通撰

平口

母

蘇州府知府母

妻

小林若菜西也女

元文二年正月廿七日

實德二年正月廿七日

所目見之

所相見之申年正月廿七日

下年正月廿七日

山崎屋山崎屋

同之元文二年正月廿七日

母死

同之元文二年正月廿七日

山崎屋

同之元文二年正月廿七日

安永九年正月廿七日

山崎屋

同之元文二年正月廿七日

女子

子也

某

山崎屋

通

山崎屋

母

小林宗子

宝曆八年二月廿七日
 和文書力故為長切丸信路等
 安永九年二月廿七日
 日平二十日大毛路日
 監物之入
 又阿之在等七年二月廿七日
 日平二十日大毛路日
 日平二十日大毛路日
 日平二十日大毛路日

大以高氣及力仲之銀入
 寶永六年二月廿七日
 天明二年二月廿七日
 寛政七年二月廿七日
 沙路山之水知也

心信

小林宗子

心継

小林宗子

天明二年二月廿七日
 安永九年二月廿七日
 日平二十日大毛路日

通考

序

紀元前

文紀七ノナニ七ノナニ七ノナニ七ノナニ

洋行

如圖

以公名在久高千山

考名以名以名以名以名

組名山白深三并相家

借地任宅借

三ノ音石上録

生國

寶政上ノ事年

河野

早

河

未青月

治氏

百〇坊

系譜

長

加

河

河

河

人自十七代存之天白年一白皇子及後平定宮家
小千親王五十五代

幕致 例功分之二文字
家致 例功分之二文字
督致 字清亮

河野景元之遺政之六河野景元之遺政之六

通政

由 進及又右門下及宿女

實文二官年中月式自二官官入中
人及保壽寺寺和賜百保年中
實文二官年中月式自二官官入中
實文二官年中月式自二官官入中
實文二官年中月式自二官官入中
實文二官年中月式自二官官入中

年以名姓加此後自中云云
實文二官年中月式自二官官入中
實文二官年中月式自二官官入中
實文二官年中月式自二官官入中
實文二官年中月式自二官官入中
實文二官年中月式自二官官入中

通帝

河野景元之遺政之六

實文二官年中月式自二官官入中
實文二官年中月式自二官官入中
實文二官年中月式自二官官入中
實文二官年中月式自二官官入中
實文二官年中月式自二官官入中

通皇

實文二官年中月式自二官官入中
實文二官年中月式自二官官入中
實文二官年中月式自二官官入中
實文二官年中月式自二官官入中
實文二官年中月式自二官官入中

素 以居親事以田原左衛門守忠

後素 右衛門守忠長久右衛門守忠

右衛門守忠 右衛門守忠

右衛門守忠 右衛門守忠

右衛門守忠 右衛門守忠

右衛門守忠 右衛門守忠

右衛門守忠 右衛門守忠

右衛門守忠 右衛門守忠

女 仁右衛門守忠素

母 二河守忠

通明 母 右衛門守忠

素 右衛門守忠素

右衛門守忠 右衛門守忠

母 右衛門守忠

右衛門守忠 右衛門守忠

右衛門守忠 右衛門守忠

秀通 竹月御印

母告
天御元是年其日長山天宮御宿御宇御所
内紀書云云云云

通廣 隆正年
白 彦彦御宇

通言 隆正年
白 彦彦御宇

女 藤原御宇 花井御所 出雲守

孝女 藤原 下等子 長久保御所

下 通言 彦彦御宇

高五百石 常陸守 本國守 新通二書所

寶政上巳事年三月 河野主稅 免

か
執事

系譜

東正月八日
定實寺住持

信長
是日在後○物田寺

山崎元就
山崎元就

河津友之助

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

河内守通信源河津守信人
河内守通信源河津守信人

通貫

吉乃 娘と信乃

母 乃乃 河内守通信源河津守信人

妻 乃乃 河内守通信源河津守信人

生八子 乃乃 河内守通信源河津守信人

前所 乃乃 河内守通信源河津守信人

乃乃 河内守通信源河津守信人

乃乃 河内守通信源河津守信人

乃乃 河内守通信源河津守信人

直涉

人門者

松政乃乃

乃乃 河内守通信源河津守信人

通作

乃乃

乃乃 河内守通信源河津守信人

乃乃

常所

乃乃 河内守通信源河津守信人

乃乃 河内守通信源河津守信人

乃乃 河内守通信源河津守信人

乃乃 河内守通信源河津守信人

乃乃 河内守通信源河津守信人

乃乃 河内守通信源河津守信人

乃乃 河内守通信源河津守信人

乃乃 河内守通信源河津守信人

乃乃 河内守通信源河津守信人

乃乃 河内守通信源河津守信人

乃乃 河内守通信源河津守信人

通周

通周の御守り 九章

口女

案 申世親 松原屋人 茂村女元

後書 刑部左衛門守 河内守人 茂村女

海軍少将 新保 信平 月一 女元

宣下 二重 申平 去月 去月 父 茂村 月一 女元

左衛門 守 河内 守 月一 女元 茂村 月一 女元

口女 茂村 月一 女元 茂村 月一 女元

口女 茂村 月一 女元 茂村 月一 女元

口女 茂村 月一 女元 茂村 月一 女元

口女 茂村 月一 女元 茂村 月一 女元

女子

女子 茂村 月一 女元 茂村 月一 女元

母 茂村 月一 女元 茂村 月一 女元

某

圓次郎 子也

通流

通流 茂村 月一 女元 茂村 月一 女元

口女

案 茂村 月一 女元 茂村 月一 女元

案 茂村 月一 女元 茂村 月一 女元

案 茂村 月一 女元 茂村 月一 女元

案 茂村 月一 女元 茂村 月一 女元

案 茂村 月一 女元 茂村 月一 女元

松平氏... 尚永... 門前... 天... 上... 下... 知... 門... 門... 門...

通光

長...

養母

長...

養父

長...

養母

長...

養父

長...

長...

長...

長...

長...

女子

母

長...

長...

七名月... 津田... 丙

未三月初
津田...

治氏
...

系譜

か
新

河野...

元禄六年五月十日
山打凡
...

通紙

河内守

先妻
...

養女

元禄六年五月十日
...

通改

母

正徳四年
...

高橋八郎平之介の日記
元文三年十一月廿七日
上野に遊んで、
元文三年十一月廿七日
上野に遊んで、
元文三年十一月廿七日
上野に遊んで、

某 我の父
母 上野

通書

五郎平 三年
母 上野
某 我の父
母 上野

高橋元自平の日記
元文三年十一月廿七日
上野に遊んで、
元文三年十一月廿七日
上野に遊んで、
元文三年十一月廿七日
上野に遊んで、

母 上野
正高 日記

高橋元自平の日記
元文三年十一月廿七日
上野に遊んで、
元文三年十一月廿七日
上野に遊んで、
元文三年十一月廿七日
上野に遊んで、

通賢

藏之部 長治部

母 菅原氏女

先妻 於元長元年正月廿五日

天曆八年甲午年正月廿五日

先妻 氏女

長安元年正月廿五日

妻 氏女

同家之部 長治部

明和元年甲午年正月廿五日

天曆八年甲午年正月廿五日

先妻 氏女

相部 氏女

寛政八年甲午年正月廿五日

先妻 氏女

女

母 上月

某

法部

母 同之部女

右之通河部氏女

三五百石上野本國縁 市之長次之番所

寛政五年甲午年十月

河部 氏女

印

加
年
每

系譜

未
年
每

年
每
每

小
年
每
每

平好

河野

幕之致
家之致
誓之致

自刑之文字
自刑之文字
幕之致河野此之御様

河野河野河野

通改

河野長門守

下取之至平之身之御書之御様
元禄七年平之身之御書
幕之致河野河野河野

通改

河野

幕之御書之御様
元禄七年平之身之御書
幕之致河野河野河野

幕之御書之御様

通改

河野長門守

幕之御書之御様
元禄七年平之身之御書
幕之致河野河野河野
幕之御書之御様
元禄七年平之身之御書
幕之致河野河野河野

通改

河野長門守

幕之御書之御様
元禄七年平之身之御書
幕之致河野河野河野
幕之御書之御様
元禄七年平之身之御書
幕之致河野河野河野

加
紙

系
糖

申
行
名
右
松
平
内
通
氏
家

改
行
名
右
松
平
内
通
氏
家

申
行
名
右
松
平
内
通
氏
家
河
野
八
左
兵
衛

[Faint, illegible handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side]

執贊氏
河野

先祖全中七卷... 氏之祖也

常之致 信... 蕃致 信...

河野常就智通信子世之孫

通收 忠...

通泰

始七... 信...

天... 神... 信...

通照

新... 信...

我田福物之仁
天正十年八月
神
...

通長

台端云仰入大川...
...

通心

在... 新地

通親

又上列...
...

如 家母

兼 親者... 通心十...

寶永三年...
...

通良 元夏
母 上青
新親 元夏 元夏 元夏
九命 元夏

通正 母 上青
新親 元夏 元夏 元夏

通志 母 上青
新親 元夏 元夏 元夏
元夏 元夏 元夏 元夏
元夏 元夏 元夏 元夏

通春 母 上青
新親 元夏 元夏 元夏
元夏 元夏 元夏 元夏
元夏 元夏 元夏 元夏

通秀 母 上青
新親 元夏 元夏 元夏
元夏 元夏 元夏 元夏
元夏 元夏 元夏 元夏

妻 山崎屋 河野八郎の御孫女
享保七年七月廿七日
川崎屋 河野八郎の御孫女
享保七年九月廿七日
河野屋 河野八郎の御孫女
享保七年十月廿七日
河野屋 河野八郎の御孫女
享保七年十一月廿七日

母 上田
河野屋 河野八郎の御孫女
享保七年十二月廿七日

女 河野屋 河野八郎の御孫女

女 河野屋 河野八郎の御孫女
母 上田

通昭

縁 八郎

母 河野屋 河野八郎の御孫女

云々

享保七年七月初七日
河野屋 河野八郎の御孫女
享保七年八月廿七日
河野屋 河野八郎の御孫女
享保七年九月廿七日
河野屋 河野八郎の御孫女
享保七年十月廿七日
河野屋 河野八郎の御孫女
享保七年十一月廿七日
河野屋 河野八郎の御孫女
享保七年十二月廿七日
河野屋 河野八郎の御孫女

通久 河野屋 河野八郎の御孫女

某 治部卿

母 尚女

某 御前

母 尚女

女 一 移初之孫 山内仁長之政御妻

母 治部卿

右 通所之孫

三言 後本國信 常侍大臣

善政 上巳 壬午十月 河野公直 秀

壬午十月廿九日
河野之孫 公直

治部卿
善政 九女 河野公直 子

系譜

か
紙

善政 河野公直 子
河野公直 子

批答

河野氏

先君御存女親重幸下代御女親御子母又後御子成
此等河野御渡公身三十七代御河野御重幸
御流丹波御作人河野御重幸御

御流丹波御作人河野御重幸御
御流丹波御作人河野御重幸御
御流丹波御作人河野御重幸御
御流丹波御作人河野御重幸御

乙酉年九月

新三郎

母 妻 弟

信長之仁

信長之仁

神后之仁

新七郎

通則

母 妻 弟

信長之仁

与村之百十九名... 多酒云... 百十九名... 与村之百十九名...

初... 与村之百十九名... 与村之百十九名...

女 与村之百十九名... 与村之百十九名...

女 与村之百十九名... 与村之百十九名...

女 与村之百十九名... 与村之百十九名...

女 与村之百十九名... 与村之百十九名...

女 与村之百十九名... 与村之百十九名... 与村之百十九名...

宗通

新中

女 与村之百十九名... 与村之百十九名... 与村之百十九名...

宗通... 与村之百十九名... 与村之百十九名... 与村之百十九名...

女 与村之百十九名... 与村之百十九名... 与村之百十九名...

女 与村之百十九名... 与村之百十九名... 与村之百十九名...

通云

新嘉坡 第七年

母 楊山氏女

素 册子 共持果市凡馬堂之母

元德三年八月廿三日

元德三年七月廿五日 入中 地念 年 所 記

元德三年八月廿三日

元德三年八月廿三日

元德三年八月廿三日

女

母 山 氏

通純

又四年

母 新嘉坡 氏

素

德皇自即位 初至 禮多 又 德行 母

正德四年八月廿三日 入 中 地 念 年 所 記

正德四年八月廿三日 入 中 地 念 年 所 記

正德四年八月廿三日 入 中 地 念 年 所 記

正德四年八月廿三日 入 中 地 念 年 所 記

正德四年八月廿三日 入 中 地 念 年 所 記

正德四年八月廿三日 入 中 地 念 年 所 記

正德四年八月廿三日 入 中 地 念 年 所 記

正德四年八月廿三日 入 中 地 念 年 所 記

正德四年八月廿三日 入 中 地 念 年 所 記

正德四年八月廿三日 入 中 地 念 年 所 記

正德四年八月廿三日 入 中 地 念 年 所 記

啓

宣和二年十月五日 奉詔 宣和二年十月五日 奉詔 宣和二年十月五日 奉詔

孝

宣和二年十月五日 奉詔 宣和二年十月五日 奉詔 宣和二年十月五日 奉詔

通集

宣和二年十月五日

通集

宣和二年十月五日

母 湯氏女

妻 表若事親 抱不孝之節 數國女

宣和二年十月五日 奉詔 宣和二年十月五日 奉詔

心 忠 忠 忠

妻 加茂控名 忠 忠

加茂控名 忠 忠

通亮

母 忠 忠

妻 忠 忠

余馬士兒

右之通子存以此

高音年公

本國學牛送給之印

實及上元年

河野嘉兵衛

馬

東月响
海台の傍に在

海
岸に在る

系傳

か

紙

小善江海台の傍に在る
河野院

教習氏

河野

孝靈天皇御宇三皇子河野親之公
七代之後流河野親之公通氏九代
河野河野通氏河野河野通氏
是利親流河野河野河野河野
後之通氏河野河野河野河野
拓三子河野河野河野河野河野
河野河野河野河野河野河野

河野河野河野河野河野河野

河野河野河野河野河野河野

河内之種河内者及氏也
河内者長子年國之東河内也
河内者長子年國之東河内也
河内者長子年國之東河内也
河内者長子年國之東河内也

幕之紋

側乃之文字
九曜

家之紋

側乃之文字

誓之紋

九曜
正當之記

河内者長子年國之東河内也
河内者長子年國之東河内也

氏朝

信信

母

列而因記信信母

左祖之庚申年信列川中流也
右祖之祖父河内者也
其之祖父庚申年國系河内者也
其之祖父庚申年國系河内者也

河内者長子年國之東河内也
河内者長子年國之東河内也
河内者長子年國之東河内也
河内者長子年國之東河内也

次男由利公分親公長子權守公親公
石持公長子親公長子親公長子親公
書

台端云 御代

宣和元年甲午年六月陸日御代
三白石中親公分親

大敵云 御代

年月日名親由利親公親公
年月日名親由利親公親公
宣和元年甲午年六月陸日御代

病死申進候子坂親由利親公
治石 治石院了通日等

治石院

通長

養母 宣和元年

養父 宣和元年

養母 宣和元年

養父 宣和元年

養父云 御代
宣和元年甲午年中親由利親公

万治元年戊午年七月卒于...
 寛文之...
 年月...
 ...
 ...
 ...

如子

母

母

河内...
...

臨通

母

母

天和二年戊午年七月...
...

迎春

母

母

素

大洲友庵...
...

...

常憲之御代年月日名能忍服松之御代御代

今所御代名能忍服松之御代御代

通奉聖代御代

元禄二年九月十日父官御代

御代

同治二年八月十日父官御代

秋元御代御代

御代

宝永二年九月十日父官御代

若入門御代御代

御代

享保元年九月十日父官御代

同日御代御代

御代

同治二年九月十日父官御代

御代御代

御代御代

元禄二年九月十日父官御代

御代御代

御代御代

孝悌中... 中... 子... 孝悌...
揚子... 孝悌...

元... 孝悌... 孝悌...

正... 孝悌... 孝悌...

戶... 孝悌... 孝悌...

國... 孝悌... 孝悌...

通... 孝悌... 孝悌...

孝... 孝悌... 孝悌...

二... 孝悌... 孝悌...

信... 孝悌... 孝悌...

圖

實... 孝悌... 孝悌...

孝... 孝悌... 孝悌...

忠... 孝悌... 孝悌...

忠... 孝悌... 孝悌...

忠... 孝悌... 孝悌...

忠... 孝悌... 孝悌...

信... 孝悌... 孝悌...

忠... 孝悌... 孝悌...

忠... 孝悌... 孝悌...

許見上書及人... 乃而後安人... 同年三月... 實政... 中... 詔... 詔... 詔...

通明

十一節

母 家母

元文... 通賢... 通賢...

某

何...

甲世

母

...

...

...

某

介...

甲世

...

通明

十一節

養母

河津庄左衛門親通養母

實父

河津庄左衛門親通

實母

家母

享保十一年己酉年九月廿三日

右通明実父河津庄左衛門親通

河津庄左衛門親通

通春乃養母河津庄左衛門親通

十三年九月廿三日

元文十三年九月廿三日

十三日通明河津庄左衛門親通

河津庄左衛門親通

河津庄左衛門親通

河津

河津庄左衛門親通

河津庄左衛門親通

河津庄左衛門親通

女子

河津庄左衛門親通

河津庄左衛門親通

河津庄左衛門親通

河津庄左衛門親通

女子

和歌集

和歌集 卷之六 和歌集 卷之六

卷六

和歌集 卷之六

卷六

和歌集 卷之六

卷六

和歌集

卷六

和歌集 卷之六

和歌集 卷之六

和歌集 卷之六

和歌集 卷之六

和歌集 卷之六

和歌集

和歌集 卷之六

和歌集 卷之六

和歌集 卷之六

和歌集 卷之六

和歌集 卷之六

和歌集 卷之六

和歌集 卷之六

國平元年三月三日...
 以平國功之故...
 天照元平...
 以若入...
 實之...
 如...
 陽...
 同...
 此...
 口...

年...
 法名...

女子

母

九...

河...
 河...

東

母

十...

早也

河...

映通

母

河...

河...

春母

如春母
河津千代子
如春母

室父

室父
河津千代子
室父

室母

室母
河津千代子
室母

書

書
河津千代子
書

如曆上
如曆上
如曆上

河津千代子
河津千代子
河津千代子

長子
長子
長子

如形
如形
如形

如形
如形
如形

左様之由事... 後無... 通方
... 爲... 所... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...

... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...

... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...

... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...
... 爲... 爲... 爲... 爲...

如子

如

河津程... 書
河津... 書

通直
女
名

右通直沙

河内

三三
中國

河内

外孫人

河内

賞政

河内

東
上

河内

系

か
部

河内

執事河野

借利左角之文字

藤致 九百巴

河野宗直... 河野宗直... 河野宗直...

通久

母子... 河野... 通久...

宗... 河野...

神... 河野... 宗... 河野...

天地... 河野... 宗... 河野...

宗... 河野... 宗... 河野...

通定

宗... 河野... 宗... 河野...

宗... 河野... 宗... 河野...

宗... 河野... 宗... 河野...

宗... 河野... 宗... 河野... 宗... 河野...

批部州河印

家致 一都

河内州河内白文子

哲致 原亮

奉平河内河内白文子

伊予右佐人河内河内白文子

通幸

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

河内河内白文子

通宗

長山院下

母 宗女

書 長山院下
宣和元年七月廿七日
宣和元年七月廿七日
宣和元年七月廿七日

通宗

長山院下

宣和元年七月廿七日

通宗

長山院下

宣和元年七月廿七日

通宗

長山院下

通宗

長山院下

通宗

長山院下

通宗

長山院下

宣和元年七月廿七日

長山院下

宣和元年七月廿七日
宣和元年七月廿七日
宣和元年七月廿七日
宣和元年七月廿七日
宣和元年七月廿七日
宣和元年七月廿七日
宣和元年七月廿七日
宣和元年七月廿七日
宣和元年七月廿七日
宣和元年七月廿七日

通函

三山 仙傳院 仁庵

母 石見守

元禄三年正月廿一日
向來方七等正月

淨光院御所内

正徳三年正月廿一日
又通書方七等正月廿一日
其九月御所

有奉

正徳三年正月廿一日
向來方七等正月廿一日
其九月御所

正徳三年正月廿一日
向來方七等正月廿一日
其九月御所

正徳三年正月廿一日
向來方七等正月廿一日
其九月御所

尋門子 号 仙夢院

常賢 在房 於 中 命

正徳四年七月十一日 仙夢院 仙夢院 仙夢院

女 行 向 建 於 西 院 以 因 未

某 長 印 久

正徳四年七月十一日 仙夢院 仙夢院

某 長 印 久

正徳四年七月十一日 仙夢院 仙夢院

某 長 印 久

通 損 仙 夢 院 正 徳 四 年 七 月 十 一 日

母 為 國 氏 女

素 之 為 名 仙 夢 院 仙 夢 院 仙 夢 院

正 徳 四 年 七 月 十 一 日 仙 夢 院

仙 夢 院 仙 夢 院 仙 夢 院 仙 夢 院

正 徳 四 年 七 月 十 一 日 仙 夢 院

利 仙 夢 院 仙 夢 院 仙 夢 院

正 徳 四 年 七 月 十 一 日 仙 夢 院

仙 夢 院 仙 夢 院 仙 夢 院 仙 夢 院

正 徳 四 年 七 月 十 一 日 仙 夢 院

仙 夢 院 仙 夢 院 仙 夢 院 仙 夢 院

女 治部卿若御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に

女 治部卿若御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に

某 治部卿若御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に

通久

実母 家母

妻の御孫の御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に

書永五十年九月

人初之御孫の御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に

天可成之御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に

御孫の御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に

御孫の御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に

某 治部卿若御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に

御孫の御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に
御孫の御孫に御孫の御孫に

友教 自次

安永五年甲午九月廿七日

二日七時三十分

女 君臣所 萬吉殿 吉和家

女 一宿友 飯田能全寺前信女

女 宗元行持所女

女 宗元 行友中偏所女

女 山内信雄 信野寺前所教養家

某 平身

天明三年二月廿九日

才宗 文

通明 良以

天明三年二月廿七日

通名 宗元

某 文

天明三年二月廿七日

某 留八文

宗 宗元

天明三年二月廿七日

宗 宗元

女 宗元

分 貞正師 坂遊玄治 坂友房 書

右ノ通シヨクハ

寛政七乙未年十月

各 河野松庵

